

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '小中学校適正配置実施計画推進事業' and '学校教育の充実'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about student trends and educational goals.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 26-30 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (人件費) for 26-30 years.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business expenses) comparing 27年度実績 (2015 actuals) and 28年度事業費予算 (2016 budget).

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing implementation content for 28年度, 29年度, and 30年度, including activities like 相談会開催 and アンケート実施.

事務事業名	小中学校適正配置実施計画推進事業	事務事業No.	30101000930	所属課	学校教育課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 少子化の進行により、小中学校の児童・生徒数が減少し、平成20年度から適正規模・適正配置の検討を開始した。H22年に答申がなされ、平成24年から具体策検討を開始し、平成25年に小中学校適正配置基本計画の答申を受けた後、教育委員会の承認を経て議会に報告し、これを基に平成26年度、地域ごとに説明会等を開催した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 桃山中学校区において、保護者から桃山中学校敷地内での真壁小学校、紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせて小中一貫教育校設立の要望・請願が行われた。他の地域でも、少子化を懸念し他校との統合に関する相談が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 小中学校の適正配置により、児童生徒の適正な学習環境が確保されることから、安全安心な教育環境づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 当市に生活する児童生徒が適切な教育を受ける場としての学習環境の整備を目的としており、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 適正配置基本計画を示してから具体的に統合が進んでいるのは市内の小中学校16校のうち、桃山中学校区の3校のみであり、残り13校の適正配置に関して今後検討していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童生徒の減少により、児童生徒の適正な学級規模が維持できなくなる。また、学校によってはすでに複式学級の形式をとっている学校もあるが、それが解消できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業や統廃合の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は人件費のみであり、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内のすべての児童生徒と通う学校が対象であり、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 桃山中学校区では住民の合意形成が進み、実施に向けて校舎建設計画が進行している。桃山中学校区以外からも相談は寄せられているが、保護者をはじめとする地域住民間の合意が形成できず、桃山中学校区以降がどうなるかが懸念される。桃山中学校区の適正配置の結果を示し、適性配置の必要性に関する住民理解を深めていく必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 適正配置基本計画の説明会実施により、市の考える適正配置のあり方をお知らせした形になったが、住民の中には既に決定事項であることとらえている方もいるため、今後もアンケートや懇談会を実施し、地域の意見を尊重しながら適正配置を進めること、必ずしも計画にある通りに統合するものではないことを周知していく事が必要。 また、地域により当事者意識に差があるため、桃山中学校区の統合・小中一貫教育校の開校を広くPRすることにより、全ての住民に興味・関心を持ってもらうことで、身近な問題として捉えてもらえるようにする。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---